

信濃学園通信

第130号

令和6年/3月発行

長野県
社会福祉事業団
長野県 信濃学園

〒390-1401
松本市波田 4417-8

特集

信濃学園の
あり方について

【着任の挨拶】



係長

佐藤 憲司

本年1月1日付けで長野県西駒郷から着任しました佐藤憲司と申します。長野県西駒郷は障害者支援施設として18歳以上の入所・通所されている知的障がいのある方々に対し、入浴や排泄、食事などの介護、また、生活などに関する相談や助言、その他の必要な日常生活上の支援を行う施設で

す。私は施設入所支援のさくら支援課に在職し、利用者さんの生活支援全般を担ってきました。利用者さんは皆成人の方々なので、個々の障がい特性に配慮しつつも対等な立場で関わり、支援してきました。

1月に着任した本園は18歳未満のお子さんが利用されています。着任したばかりの頃は前職場のイメージで本園を想像していましたが、いざ利用者さんの生活支援に入ると戸惑いや違いが実感できました。成人の方々の支援と違い成長期の児童であることから、そのお子さんの主体性は尊重しつつも時には年齢に応じた関わり・対応が大切であることが少しずつではありますが、分かってきました。

まだまだ着任早々で不慣れではありますが、利用者さんの意志を尊重しつつ、他の職員と力を合わせて自立に向けたより良い支援に務めてまいります。

ます。よろしくお願ひします。

【クリスマス会・

サンタプロジェクト】

支援員

青木 翼



感染症も少しずつ落ち着きを見せ、感染症発生前の様に学園でのイベントが実施出来るようになりました。

利用者の方も毎年楽しみにしている本をサンタプロジェクトから今年度も寄贈して頂きました。

寄贈して頂いた本は、クリスマス会でプレゼントと一緒に利用者の方にしてお渡しいます。皆さんとても喜んでおりました。毎年寄贈して頂ける事に感謝しております。信濃学園ではクリスマス会恒例のサンタとトナカイが各寮を回り、1人ひとりにプレゼントを手渡します。

利用者の方が少しでも楽しめ、笑顔が見られるようにしていきたいと思ひます。

【もちつき会】

管理栄養士

吾妻 三智代



何年かぶりに地域の方の協力のもと、1月5日にもちつき会を開催することができました。前日に「もちつき」の絵本の読み聞かせを行い、もちつきのイメージを作り、当日に臨みました。

当日は地域の方の「よいしょ。よいしょ。」の掛け声に力強く、杵を振る利用者や大勢の中で恥ずかしそうに支援員と杵を振る姿がありました。現在は自宅でもちを搗くことが少なくなり、とても貴重な体験ができました。

利用者が搗いたもちは感染症予防の観点から鏡餅にし、当日の昼食は厨房で作ったもちを食べました。もちを食べる機会が少ないため喜んでいましたが「ペろり」とあつという間に食べてしまいました。

【ネイルボランティア体験】

支援員

勝野 享

冬休み中の余暇活動の一つとして、お正月があけた1月6日にネイルボランティアの方2名に來園して頂き、利用者にネイルケア、ハンドマッサージを体験してもらう事ができました。指先を整えて綺麗にしたり、好みのネイルカラーを塗ってもらったり、ハンドマッサージを施してもらったりして、皆さん目を輝かせて笑顔になっていました。おしゃれに關心のある女子利用者だけでなくほとんどの男子利用者とても嬉しそうに体験していました。冬休

み明けには残念そうにネイルカラーを落として登校しましたが、初めてのネイルボランティアの体験はとても楽しいものになりました。



【令和5年度職員研修】

【について】

支援員

北村 健一

信濃学園では職員のスキルアップ向上のため、毎年7月と11月に主に外部から講師を招いて職員研修を行なっています。今年の一つのテーマとして、直接現場支援に関わっている人を講師として招くことを掲げ、生の現場の声を聞いて、私達職員がより共感しやすい内容にしようとして企画してきました。7月は松本養護学校の専門性サポートチ

ームのリーダーの先生をお招きし、「ポジティブな行動支援」についてお話しして頂き、専門的な取り組みによる行動の変化を学ぶことができました。11月は同法人内であります松本あさひ学園の職員をお招きし、「児童心理治療施設における性教育」についてお話しして頂きました。他事業所の取り組みを知ることができ、改めて性の問題の難しさを実感するようになりました。

専門的な研修の他にも虐待防止、防犯、AEDの使い方等の研修も同時に行いました。昨今施設職員の様々な専門性が求められる中で、こういった研修は学園全体の支援の質を高めることになるので、来年度も質の高い研修を継続していければと思います。

【有事への備え】

看護師

上島 知恵

令和6年1月に発生した能登半島地震で被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様の安全と1日でも早く平穏な生活に戻られますよう心よりお祈り申し上げます。

自然災害等が起こるたびに改めて平時からの備えが必要だと実感します。信濃学園では毎月1回、様々な時間及び火災場所を想定した避難訓練を行っています。また、昨年の職員研修では、防犯面で不審者侵入時の対応方法やAEDの講習会を実施し、加えて、新年度に向け、非常持ち出し袋の見直しを行っています。近年では自然災害や感染症など、想定を超える出来事が起こりますが、今後も利用者さんが安心・安全に過ごせるよう努めて参ります。



信濃学園 利用者さんフォト





【利用者の動向】
 一月二十三日、
 東寮に一名の利
 用者が入所しま
 した。

今年度もたくさ
 んのご寄付をあり
 がとうございました。
 ケーキ、スイカ、
 野菜等学園の皆で
 美味しくいただきました。
 図書、雑巾もあり
 がたく使わせてい
 ただいています。

【職員動向】
 転出
 十二月一日付
 宮入 晃二
 退職
 十二月三十一日付
 宮澤 好未
 転入
 一月一日付
 佐藤 憲司

【編集後記】
 今年度も学園通信を無事に
 発行することができました。
 ご協力、ご支援いただき、
 ありがとうございます。
 (A)

信濃学園ホームページアドレス
<https://nagano-swc.com/shirano/>